

学校だより

津久戸

平成28年9月30日

10月号 新宿区立津久戸小学校

実りの秋へ

校長 八田 瑞穂

天高し 先輩の球 本塁打
栗ご飯 おかわり競争 三兄弟
名月の ほのかな光が 射しにけり

『文集 つくど』より

さわやかな季節になりました。学校の授業や行事も
充実の秋を迎えています。

【自分の気持ちに気付く：怒りのコントロール】

4年生を対象にいろいろな気持ちに気づき、感情の
コントロールの方法を学ぶ授業がありました。講師は
巡回相談心理士の石川芳子先生です。「怒り」は他の
誰からでもない、自分の心から湧き出します。その対
応の仕方を学びました。教員もその後研修しました。

【日本の伝統を学ぶ】

日本舞踊をこれも4年生が習いました。浴衣を着て
「さくら」を芸団協のプロの舞踊家から学びました。
なお、学校ではクラブ活動の「伝統クラブ」で茶道
や華道もやっています。音楽では琴の演奏をしています。

【地域安全マップ作り】

例年、3年生が取り組みます。フィールドワークに
出掛け28日（金）のセーフティ教室で発表します。
中野区在住の「地域の安全・安心を考える会」の代表
儘田（ままだ）宏さんにここ数年、来校いただき指導
を受けています。11日は「安心・安全なまちづくり
の日」です。自分たちの力で「地域の安全力」を引き
出す実践が儘田さんのおかげで出来ています。

【学力と体力・運動能力調査】

5年生は東京都の「児童・生徒の学力向上を図るた
めの調査」、6年生は「全国学力学習状況調査」を、
全学年にわたって「体力・運動能力調査」を受けまし
た。その結果が出ました。努力の成果が出ています。
個票を今後、お渡しします。詳しい結果はホームペー
ジに掲載の予定です。



日光移動教室を終えて

9月26日から28日の3日間、6年生は日光移
動教室に行ってきました。

一日目は、日光だいや川公園でアスレチック体験
と日光彫り体験をしました。日光の自然を体で感じ
ながら友達と活動することができました。日光彫り
では、限られた時間の中で最後の最後まで夢中にな
って取り組んでいました。二日目は、美しい男体山
を眺めながら戦場ヶ原ハイキングをしました。ガイ
ドの方々から自然の移り変わりなどを、直接見て学
ぶことができ、貴重な学習となりました。三日目は、
日光東照宮の見学をしました。社会科でも学んだ世
界遺産に触れ、豪華な建造物を通して歴史の重み
を感じました。事前に調べた子供も多く、ガイドの方
々の説明を聞き、学習を深めることができました。

小学校生活最後の宿泊学習に向け、短い時間の中
で協力しながら準備したこと、そして子供たちが中
心となって3日間を過ごしたことで、成長すること
ができたと思います。それぞれの任された役割を、
恥ずかしがらずに表現した様子からも成長と感じま
した。この移動教室で学んだことや身に付けた他者
への関心、そして自分の殻を破り、友達と今を楽し
むことを残りの小学校生活にも生かしてほしいと思
います。

スクールカウンセラーから

昨年公開のディズニー映画で「インサイド・ヘッ
ド」という作品がありました。頭の中に存在する「ヨ
ロコビ」、「カナシミ」、「イカリ」、「ムカムカ」、「ビ
ビリ」の5つの感情たちの活躍を通して、主人公の
女の子の物語を綴った作品です。女の子は素直で明
るい子です。母親からは「あなたが笑顔でいてくれ
ることが救いだわ。」と言われ、喜びを感じていま
した。しかしその直後、「ヨロコビ」と「カナシミ」に
トラブルが起こり、女の子の感情は不安定なもの
となってしまいます。5つの感情たちは奮闘し、この
困難に立ち向かいます。

この作品での女の子の感情はとても単純なもので
した。何でも「ヨロコビ」に変えることで楽しい毎
日を過ごせるといえるものです。しかし、人の感情は
単純なものではありません。物語の最後は、女の子
が様々な感情に気付いていき、上手に様々な感情と
付き合いながら今を一生懸命に過ごしていきます。

まさに今、子供たちは複雑に絡み合った感情に気
付こうとし、今を一生懸命に過ごしている真っ最中
です。今、抱えている感情が何か、それが分かるの
はその子だけです。子供たち自身の感情への気づき
という視点からも、世話を焼きながら成長を温かく
見守り、応援していきたくものです。

算数少人数から

津久戸小学校では、3年生以上の算数の学習で少人数による指導を行っています。学習に意欲的な児童が多く、東京都の学力調査の結果でも、平均を上回る結果となっています。

算数は、生活の中にたくさん生かされており、身近なところに算数の教材があります。例えば、同じ500MLでも飲料の入ったパックとペットボトルでは、形は異なるが、かさは同じであることなどの経験から、かさの感覚や単位への興味につながります。コップに分けることにより、分数の学習にもなります。自分の目で見て、触って、感じる普段の生活経験が算数の素地を養っています。学校でも、実際に重さや長さを測る、比較するなど、体験的な活動を取り入れていきたいと考えております。

また、本校では今年度、「楽しく力のつく授業の創造～対話型授業をめざして～」を研究テーマに全教科を通して指導の工夫・改善を目指しています。何を学ぶかだけでなく、どのように学ぶかということにも焦点を当て、体験的な活動を含め、話し合ったり、自分の考えを表現したりしながら、児童が能動的に学習に取り組むことができるように授業を工夫・改善していきます。

今年度は、津久戸小学校のホームページに東京ベーシックドリルを掲載しております。復習など、家庭学習にぜひご活用ください。

10月の生活目標

『人の気持ちを大切にしよう』

- ・気持ちのよいあいさつをしよう。
- ・外で元気に遊ぼう。
- ・友だちどうし助け合おう。
- ・言葉づかいをきちんとしよう。

人と人とのやりとりは、言葉がとても大切です。もちろん、言語以外の表現も重要ですが、日頃使う言葉を大切にすることは、周囲の人を大切に思うことと同義ではないのかと思います。

自分から挨拶ができること、困っている友人がいたら「大丈夫？どうしたの？」と声を掛けることができること、素敵な良い言葉を沢山知っていること。大きな財産になるはずです。読書の秋です。ぜひ本を通して様々な表現の良い言葉に触れて感性を磨いてみてください。

(生活指導部)

